

ねらい

- ・日中戦争・太平洋戦争の時代には生活必需品の生産よりも軍需品の生産が優先され、国民生活が統制され大変苦しい状態であったことを理解する。
- ・戦争の長期化による物資の不足や国家の統制に伴う国民の生活の変化やその背景について関連付けて考察・表現する。

	授業の展開 (☆予想される生徒たちの発言)	留意点 (●主な発問)
	<p>0. 導入に向けて前時の学習の確認 「10min. ボックス 日本史 戦争と国民生活 ~日中戦争・太平洋戦争~」を視聴し、教科書を読み合わせることで当時の戦争の概要を把握する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・不景気だった日本が、土地と資源を求めて中国に攻め込んだことを動画で確認する。 ・戦争が広がる様子と太平洋戦争が始まった理由を本時で学習することを確認する。
導入 5'	<p>1. 1年間に必要な衣料品について考える。 ☆靴下や下着がたくさん必要だと思う。 ☆春夏秋は半そでの下着やシャツ、冬は長袖の下着やシャツ、上着など防寒着も必要です。 ☆学校や会社などに着ていくために制服やスーツ、セーター、体育着なども必要だと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●私たちが1年間で必要な衣料品はどのくらいの量ですか？ ・1年間で使用している衣料品、また必要な種類には何があるのか、おおよその量を書きだし生徒の中でイメージ化するようにする。 ・季節や場面に応じて様々な衣料品が必要であることを確認する。
展開 ① 20'	<p>2. 衣料品の購入について戦時下の人々の視点で考える。 ☆ワンピースが35点でパンツが1枚5点だから、1年間で6枚は必要だから、・・・ ☆点数が80点だととても足りない・・・などなど</p> <p>3. 1938年から国民生活全体が戦争により大きく変化していったことを考える。 ☆必要なものが十分買えなかった。 ☆1年間に80点では少なすぎる。 ☆衣料以外に切符制がとられたものがあるのかな。 ☆海外から原材料の輸入がしづらくなって、衣料品の生産量が少なくなっていたから。 ☆戦争で使う衣料品がたくさん必要になったから。 ☆みんなが平等に我慢しなければならなかったから。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・戦時下の人々は、物資の不足などから衣料品は現金ではなく、切符でしか購入できなかったことを、教科書や「10min.ボックス」等で振り返り確認する。 ●1人につき1年間で80点です。80点で何を購入するのか考えてみよう。 ・当時の衣料切符の“点数の内訳表”を各班に1枚配布し、その当時の人々になりきってお互いに配分を考える。 ●欲しい衣料品は購入できましたか？ ・衣料品を満足に購入できないということを生徒に気づくようにして、なぜ現金ではなく切符制なのか、生徒の中に疑問を持つようにする。 ●なぜ「国家総動員法」が作られた1938年以降は衣料品の購入は現金ではなく切符制なのだろう。 ・ここでは正解を求めない。生徒の中で自由に議論させる。
展開 ② 20'	<p>4. 動画クリップ「代用品と衣料切符」(0:00~2:20)を視聴する。 ☆米、塩、砂糖等、主要な食料品が配給制度となった。 ☆皮製品や金属製品は兵器製造等のため国に納められた。 ☆食料の増産や、兵器の製造に子どもたちも労働力として使われた。 ☆このような厳しい暮らしは耐えられない。 ☆学校へ行っても軍事訓練ばかりで勉強ができない。 ☆なぜこんなに不自由が強えられる戦争したのかな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●衣料品以外に統制された生活必需品にはどのようなものがありましたか？ ・動画視聴後に戦時下の人々の生活がどのようなものであったか確認する。 ●自分が当時の子どもたちの生活環境におかれたとしたらどう感じますか？ ・当時の人の気持ちになって考え、今の自分たちの生活と比較して見つめなおす。 <p><参考証言映像> ※NHK戦争証言アーカイブス「あの人の戦争体験」 黒柳徹子さん「12歳で体感した戦争」(0:35~3:51) 米倉斉加年さん「栄養失調で亡くなった2歳の弟」(2:03~5:21)など</p>
まとめ 5'	<p>5. 学習のまとめをノートに書く。 ・はじめに「今日の授業でわかったこと」、そこから生まれた疑問点を自分のノートにまとめる。 ・まとめを発表し、共有化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・戦時中の暮らしを支えた「配給制・切符制」や「国家総動員法」などの重要語句を、クラスで共有し確認する。 ・疑問点から次時に学びたい課題を発見しまとめる。